

河川砂防技術研究開発公募 砂防技術分野  
平成26年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
火山地域における局地的大雨による大規模表層崩壊発生機構の解明と危険地抽出技術の開発 (研究期間：H26年～H28年)	山梨大学 准教授 後藤 聡	B
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>伊豆大島、阿蘇山における土砂災害事例をもとに、現地で採取した降下火山碎屑物を用いた実規模模型斜面の崩壊実験により、雨水浸透に伴う崩壊発生過程を解明するとともに、高精度地形図を用いた微地形分類を用いて崩壊発生場の地形要因を明らかにすることにより、火山地域の地形・地質・地盤要因を考慮した大規模表層崩壊の危険地抽出手法の開発を目的とする。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究は、伊豆大島、阿蘇山における土砂災害事例をベースに、詳細な現地調査、実験的アプローチ、微地形分類などを用いることにより、大規模表層崩壊危険地のスクリーニング手法を提示しており、災害危険度の予測精度向上が期待できる。 しかしながら、実現象に近い条件での実験や安全率の設定に関する理論的考察、流動性崩壊の発生メカニズムの解明が必要である。 今後は、スクリーニングアルゴリズムの高度化を図り、実用的な手法に向けた検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い